

# 授業科目 疫学

【担当教員名】  遠藤 和男	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## 【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現

## 【概要・一般目標：G10】

## &lt;概要&gt;

公衆看護学またその実践である地域保健活動にとって、根本的な理論が「疫学」であり、いわば原理と方法論である。それに対して前期で学んだ統計学は、ある意味で道具である。この両者によって現在医療の現場で重視されている、EBM (Evidence-based Medicine) の基礎について修得が可能なのである。

## &lt;一般目標：G10&gt;

証拠に基づいた医療である EBM (Evidence-based Medicine) を用いたチーム医療に参加するために、その原理としての疫学的考え方をを用いて、各種疾病の特徴を理解する。

## 【学習目標・行動目標：SBO】

1. 証拠に基づいた医療である EBM の重要性を説明できる。
2. 疫学研究で用いられる指標を列挙できる。
3. 各種疾病の原因を説明できる。
4. 各種疾病の予防対策を立てることができる。
5. 常に証拠に基づいて議論する習慣を身につける。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	疫学とは、疫学の歴史	1	講義主体
2	疾患の自然史	1,2	講義＋小グループ活動
3	疫学の指標	2	講義＋小グループ活動
4	疫学研究を始める前に	1	講義＋小グループ活動
5	記述疫学 1：疫学のモデル	1,2	講義＋小グループ活動
6	記述疫学 2：宿主要因 1	1-5	講義＋小グループ活動
7	記述疫学 3：宿主要因 2	1-5	講義＋小グループ活動
8	記述疫学 4：時間	1-5	講義＋小グループ活動
9	記述疫学 5：場所	1-5	講義＋小グループ活動
10	生態学的研究	1-3	講義＋小テスト
11	横断研究（断面調査）	1-5	講義＋小テスト
12	コホート研究	1-5	講義＋小テスト
13	症例－対照研究	1-5	講義＋小テスト
14	スクリーニング	1-5	講義＋小テスト
15	まとめ（国家試験問題の検討）	1-5	演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	基礎からわかる看護疫学	大木秀一	医師薬出版株式会社	2010・2,800円＋税
	保健統計テキスト [3年次にも使用]	遠藤和男	考古堂	2008・2,800円＋税
参考書				
その他の資料	参考となる URL は学内 LAN にアップしておく。			

## 【評価方法】

・国家試験問題に準じる筆記テスト＋課題に対するレポート  
(定期試験時間内に筆記できるものとする)  
・出席点も考慮する。

## 【履修上の留意点】

・健康栄養学科と看護学科混成で5－6人のグループを編制する。  
・第2－9回は6グループ毎に課題を提出してもらい。コンピュータを持参のこと。  
・第10－14回は小テストを提出してもらい、第15回は過去問の演習とする。